

一般財団法人 東方学会 平成 25 年度秋季学術大会開催案内

東方学会の平成 25 年度秋季学術大会を来る 11 月 8 日(金)、日本教育会館において下記の通り開催いたします。参加ご希望の方は、準備の都合上 10 月 28 日(月)までに、住所・氏名・所属を明記の上、Fax あるいは E-mail でお申込みください。

連絡先：101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 一般財団法人 東方学会
Fax. 03-3262-7227, E-mail: iec@tohogakkai.com

参加費：1,000 円 懇親会費：3,000 円

記

日 時：平成 25 年 11 月 8 日(金) 午前 10 時～午後 7 時 30 分

会 場：日本教育会館 8 階会議室

(千代田区一ツ橋 2-6-2 Tel. 03-3230-2831)

開 会 午前 10 時 (801・802 会議室)

講演会 10 時 15 分～12 時 20 分 (801・802 会議室)

10:15-11:15 「形」についての再考

11:20-12:20 人文情報学とアジア研究—仏教知識基盤形成の国際連携を事例として—

シンポジウム 午後 1 時 30 分～5 時 10 分

I. 朝鮮出版文化と中国・日本 (司会：藤本幸夫) (803 会議室)

1:30-1:40 趣旨説明 (富山大学名誉教授 藤本幸夫)

1:40-2:10 朝鮮半島における『金蔵論』版本—仏書刊行の一例として—

宮井里佳 (埼玉工業大学)・本井牧子 (筑波大学)

2:10-2:40 世宗朝の出版事業について—版本研究における朝鮮版の意義— 住吉朋彦 (慶応義塾大学)

2:40-3:10 唐宗密撰『円覚礼懺略本』の高麗版 (続蔵) について 落合俊典 (国際仏教大学院大学)

3:30-4:30 新発見高麗金属活字「証道歌字」の研究 南 権熙 (慶北大学校)

4:30-5:10 討論

II. 高大連携で取り組むアジア史教育の再建 (司会：東京大学大学院教授 三谷 博) (801・802 会議室)

1:30-1:40 趣旨説明 (大阪大学大学院教授 桃木至朗)

1:40-2:20 アジア史をどう教えるか

2:20-3:00 大学教養教育・専門教育刷新の取り組み 石橋 功 (神奈川県立藤澤総合高校)

3:10-4:10 コメント 向 正樹 (同志社大学)

高校教育の現場から

大西信行 (中央大学杉並高校)

韓国の東アジア史教育の取り組みから

キム・ミンギョ (東北アジア歴史財団)

西洋史における歴史教育の取り組みから

佐藤正幸 (山梨大学)

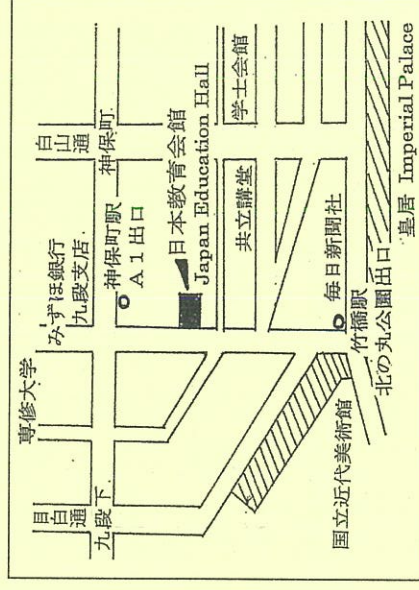
漢文の素養という角度から

合山林太郎 (大阪大学)

4:10-5:10 総合討論

第 32 回東方学会賞贈呈式 5:20～5:40 (会務報告 5:50～6:10) (801・802 会議室)

懇親会 6:15～7:30 (9 階“光琳の間”)



京都大学大学院教授 宇佐美文理
講師紹介・司会 京都大学名誉教授 池田秀三

東京大学大学院教授 下田 正弘
講師紹介・司会 東京大学大学院教授 斎藤 明